

講義コード	11C0228600	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	金子 征史	開講期	通年
科目名	労働法				金子 征史		通年		
履修前提条件					備考				
授業の目的	世界の労働法の生成を、世界史の流れのなかで明らかにし、日本における労働法の体系と基礎的知識を具体的事例に基づき講義する。								
到達目標	この講義では、わが国の労働法の基本的考え方及び基礎知識を学ぶことができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	わかりやすい教科書を使うので、それに基づいて講義の前後に、年間120時間以上の予習、復習をすること。								
授業計画	【第1回】 市民革命と産業革命により生成された労働法とはどんな法律か 【第2回】 わが国における労働法の誕生と展開 【第3回】 憲法上の労働法の目的と労働者の労働基本権 【第4回】 労働法の体系、集团的労働関係法と個別的労働関係法 【第5回】 労働関係の始まりに伴う労働法上の課題（1）労働契約法 【第6回】 労働関係の始まりに伴う労働法上の課題（2）採用内定、使用期間 【第7回】 労働関係の展開と労働法上の課題（1）業務命令 【第8回】 労働関係の展開と労働法上の課題（2）配転・出向・転籍 【第9回】 労働関係の終了（1）退職と合意解約 【第10回】 労働関係の終了（2）解雇 【第11回】 労働関係の終了（3）整理解雇 【第12回】 労働条件の決定 【第13回】 労働条件の変更 【第14回】 労働基本権（労働三権）の保障 【第15回】 団結権の保障（1） 【第16回】 団結権の保障（2） 【第17回】 団体交渉権の保障（1） 【第18回】 団体交渉権の保障（2） 【第19回】 労働協約（1） 【第20回】 労働協約（2） 【第21回】 労働組合活動の権利 【第22回】 不当労働行為制度 【第23回】 労働争議権の保障（1） 【第24回】 労働争議権の保障（2） 【第25回】 賃金の定義と最低賃金制度 【第26回】 賃金支払い方法の4原則 【第27回】 法定労働時間の原則と緩和（弾力化） 【第28回】 法定労働時間の例外 【第29回】 休憩と休日 【第30回】 休暇制度								
成績評価の方法	前期試験と後期試験（70%）、授業時間内レポート等（30%）で評価するため、試験を受けてないと単位取得は困難でせある。								
フィードバックの内容	授業時間内レポートなどは、回収後、内容についてコメントをする。								
教科書	『基礎から学ぶ労働法1』金子征史ほか（エイデル研究所）2017年、『基礎から学ぶ労働法2』金子征史ほか（エイデル研究所）2016年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内または廊下にて対応します。								
その他	レポート、試験答案などは、必ず黒色のボールペンで作成すること。 参考書などは開講時に指示する。 教科書の1は現在改定作業をしているので、開講時までに間に合わなかったときは開講時に対応について説明する。								